

新しい風

平成31年1月1日発行
発行責任者 小宮國暉
事務所 羽村市羽東1-2-9
TEL・FAX：042-554-1555

12月定例議会を終えて〔平成30年第6回〕

- ◆12月定例議会・活動報告
- ◆一般質問 『市政を問う』
- ◆本会議審議事項、特集
- ◆行政視察報告（厚生・総務）



小宮國暉



高田和登

新年を迎えて 初心を忘れずに

「新しい風」は明日の羽村をきずくため、市民の皆様と共に歩みます。

昨年は世相を表す漢字に「災」が選ばれました。西日本震災、集中豪雨による土砂災害、北海道地震災害、台風による各所河川の氾濫と自然災害があいついで日本国土を襲い、多くの人命、財産が奪われました。また、経済界、大手車両メーカー、免振構造部材ゴムメーカーのデータ改ざん等世界に誇れる日本がどこへいったのかと目を覆うばかりのモラルハザードが頻発しました。自己勝手な考えで離婚を生み、子どもの心がゆがめられ、貧困家庭を生み、我欲のために身内の生命も奪うという悲惨な社会問題を生み出しています。

バブルの崩壊に始まった平成時代も内外の世界的混沌の内に終わりをつけようとしております。唯一、心温まる「そだねー」が流行語大賞に選ばれました。相手の言い分により良く理解し、向上しあえる日は時代は！

社会経済状況も不透明な状況は続きます。国会、都議会、市議会は党利党略（会派優先）におぼれております。党派をこえて、明日の羽村に向かって初心を忘れずに一所懸命頑張ってください。よろしくお願いたします。「そだねー」

平成31年1月1日 新らしい風代表 小宮國暉



議会等の活動報告

活動日	内 容
11月19日	一般質問受付開始、新しい風：小宮・高田は毎議会ごとに、受付開始日の8時30分前に事務局出向き、受付届け（小宮12年間、高田4年間）
11月21日	正副議長・議運委員長・理事者（市長、副市長、教育長）会議12月議会他
11月26日	議会運営委員会（小宮副議長、高田委員）
12月4日～	本会議（初日）：市長所信表明、一般質問高田2番目、小宮5番目
12月7日	議案5件可決
12月11日	補正予算審議議決、経済委員会（12日 陳情1件審議議決）
12月17日	議会運営委員会（追加議案取扱い他）
12月19日	本会議（最終日）陳情審議議決（不採択）、議案審議可決、議員全員協議会

総務委員会行政視察（小宮）10/15、17日福生市、日野市学力向上に向けてのタブレット取り入れ状況
厚生委員会行政視察（高田）10/16～17日、青森県六ヶ所村原発廃棄物処理施設。広報委員会（小宮委員長）10/9、広報委員会視察受入れ 10/30、鹿児島県始良市議会「議会のトビウ」編集取り組み（小宮委員長）10/30、たま広域循環資源組合議会（小宮副議長）、私立保育園協議会との懇談会 11/7（高田）、福生病院組合議会 11/16（高田）、基地対策特別委員会横田基地見学（小宮）、総務委員会（小宮）10/3北杜市議員交流会、10/22・29・12/20 議員研修 議員全員協議会、教育部 ict 教育取組 12/12

教育・福祉・環境・コミュニティ・防犯・防災分野での活動

“新しい風”小宮・高田は
それぞれ多くの行事へ参
加し地域活性化に取り組
んでいます

10月

◆稲刈り◆羽村市文化祭開会式◆羽村小中学校音楽フェスティバル
◆羽村市体育祭◆チューリップ保育園運動会◆ふれあい福祉まつり
◆警察官友の会（留置場見学）◆五ノ神幼稚園運動会◆ライオンズクラブ例会◆小作台小親子縁日◆ふれあい福祉の集い◆朝起き会◆はむらイルミネーション点灯式◆羽村動物公園40周年記念式典◆商工会工業部会交流会◆羽村一中道徳授業・講演会◆羽高連グランドゴルフ大会◆ウィーンピアノ五重奏◆文化講演「羽村市民の健康寿命延伸を願って」◆防災フェア（西多摩土建）◆こども国際交流音楽祭◆花田景子講演会◆羽村西小キラリコンサート◆武蔵野小オータムフェスティバル

11月

◆羽村市自治功労者表彰式・懇親会◆オペラ「魔笛」鑑賞◆青少年健全育成の集い◆子どもフェスティバル◆一斉美化運動・本町第一、小作台西町内会花壇の手入れ◆私立幼稚園保護者会連合会大会◆社協「福祉大会」・講演会◆東京土建「公契約シンポジウム」◆献血運動ライオンズクラブ協力◆武蔵野小学習発表会◆はむら保育展◆小作台小・武蔵野小・羽村西小・栄小作品展◆東京2020パラリンピック・ポッチャ他体力テスト体験◆東地区ドッチボール大会◆瑞穂空手シクラメン杯◆福島県人会芋煮会◆地域力向上東六町地区防災訓練（芋煮会）◆護国神社秋の例祭・奉納剣道大会◆羽村市産業祭・ポイ捨て禁止キャンペーン◆稲荷神社新嘗祭◆ライオンズクラブ例会◆キルギス共和国柔道チーム歓迎式典◆新日本フィルハーモニーコンサート◆G-T E C T工場見学会◆ドイツ3Bの饗宴◆フジミコンサート◆家庭防災フェスティバル◆羽村東小学芸会◆神明園20周年記念式典◆市P連OB会◆美原・栄1町内会文化祭◆羽村市小学校音楽会◆金刀比羅神社総代会◆特別支援学級作品展

12月

◆西多摩少年サッカー大会◆歳末助け合い募金（明るい社会づくりを進める会）◆はむらにぎわい音楽祭◆小学生ドッチボール大会◆防衛協会納会◆本町一・小作台西町内会餅つき大会◆体育協会納会◆稲荷神社大祓祭◆ライオンズクラブ例会◆年末防犯・交通安全・火災予防パトロール週間出発式◆玉川水神社奉納飾り、新年ふれ太鼓◆五ノ神幼稚園お遊戯会◆ゆとろぎサロンコンサート◆はむら舞踊まつり◆松林小音楽発表会◆新たな農地制度説明会◆ふるさと祭り懇親会◆小作台西町内会防火・防犯夜間パトロール◆音楽のあるまちづくりコンサート◆金刀比羅神社年末清掃



五ノ神幼稚園運動会



護国神社秋の例祭



羽村動物公園40周年記念式典



文化祭



小学校作品展



小学生ドッチボール大会



ふれあい福祉まつり



多摩川ウォークラリー



歳末助け合い募金(明社会)

1. 行財政改革マネジメントの強化に向けて

要旨 現在の羽村市における行財政の重要課題は、行財政改革のマネジメント強化にあると考える。平成29年度から第6次羽村市行財政改革基本計画がスタートした。昨年6月議会の一般質問での行政改革の具体的な取組みについて、その進捗状況について質問する。

市長 人口減少、少子高齢化などの社会経済情勢の変化に対応し、より効果的で効率的な行財政運営を堅持、事務事業の見直しや事業の効率化等に視点を置いた行政改革と、持続可能で安定した財政運営に視点を置いた財政改革を推進する。

質問 行政改革面について

- 1 市民ニーズを把握するためのマーケティング力の強化、
- 2 窓口サービスや庁舎等の利便性の向上
- 3 行政評価や経営管理システムの充実、情報システムのクラウド化の検討
行政評価を含む経営管理システムにおける様式の簡素化、実効性のあるシステムとなるよう改善を図る。

4 職員の人材育成

羽村市人材育成基本方針に基づき、職員の自己啓発意欲を育むための『職場環境づくり職員の意欲と能力を引き出す『人事制度の運用』、自ら学び考える『研修体系の整備』を一体的に取り組む。定年退職者増加や行政需要の増加により、過去5年間で99人の職員を採用しており、その数は再任用を除く全職員の割合の約4分の1を占め、今後の市の将来を担う若手職員の育成強化に向けた研修を行う。

質問 財政改革面について（内は具体的取組み）

1 財務マネジメントの強化（公会計制度の導入、クラウドファンディングの検討）

「会計制度の導入」は、導入の前提となる「固定資産台帳」の整備、「複式簿記」の導入、平成28年度決算に基づく「統一的な基準による財務書類」を作成。今後は、財務書類やそれに基づく財政指標を行財政運営に如何に活用していくかが重要になることから、事業別、施設別、組織別などの「セグメント別財務書類」を作成し、年度間、施設間、自治体間での比較分析などを行っていく。「クラウドファンディング」は、新たな資金調達手法の一つとして今年度実施した「羽村市動物公園の新しいシンボル看板制作事業」で活用した。161件のご支援をいただき、募集開始から1か月強で目標の300万円を達成することができた。



2 財政基盤の強化について（税収確保）

市税の徴収面では、各種の収納特別対策を実施。市・都民税の特別徴収が義務付けられている事業者を対象に、特別徴収義務者の指定を徹底。平成29年度からは、新たに都内の全市区町村において特別徴収を推進する取組みを進め、より確実な手法による税収の確保に努める。

3 財源の効果的な活用（事務経費の見直し）

厳しい財政状況を踏まえ、今年度、行政のスリム化に向けた全事務事業の点検・見直しに取り組んでおり、約1千200の事務事業について点検を行った。

4 市有資産の有効活用。（行政財産、普通財産の有効活用）

平成28年3月に、「羽村市公共施設等総合管理計画」を策定、庁内に「羽村市公共施設等総合管理計画推進委員会」を設置。建築物と用地の検討を行う部会を設け。平成30年度には普通財産市有地の運用状況の洗い出しを行い、今後の利活用について検討を行っている。

2. 産学官連携のまちづくりを推進

要旨 10年ほど前より産学官の連携が各自治体で盛んにおこなわれるようになってきている。羽村市は、平成22年度より杏林大学と協定を結んでいる。近年、各大学が地域社会貢献を前面に打ち出している。住みよい安心安全なまちづくりを更に推進するため産学官（金・言）の連携を各分野、テーマ別に広めていければと考え、以下質問する

質問 杏林大学との包括連携協定を締結し連携を深めてきた。現状取り組みと展開。について

市長 平成22年6月に羽村市と杏林大学との間で包括連携協定を締結した当時は、「平日夜間急患センターへの医師の派遣」や「羽村市事業仕分け委員の派遣」などの6つの事業で取り組みを開始した。その後、相互に緊密に連携し、信頼を醸成する中で、多くの事業に取り組み、現在、連携事業は40を超えている。主な連携事業としては、市内全中学校の2年生を対象として実施している『BLS(ビーエルエス)等救命救急講習会』や、『市のイベントにおける企画運営及びボランティア協力』など、それぞれの連携事業において、大学が持つ知見や、学生のアイデアを十分に生かした取り組みとなっております。今年度からは、東京2020(ニゼロニゼロ)大会を契機とした新たな連携事業にも取り組んでおり、8月の「東京2020(ニゼロニゼロ)オリンピック・パラリンピックを応援しよう！2年前イベントin(イン)羽村」や11月の産業祭において教員や多くの学生の参加を得て、パラスポーツ体験会を実施するなど、次世代につながるレガシーの創出にも取り組んでいる。市域に大学がない羽村市にとって杏林大学との連携事業は、年を追うごとに欠かすことのできないものとなっております。今後も引き続き、杏林大学教員の知識・経験と、学生の行動力・柔軟な発想を市政に取り込んでいくよう連携事業の深化に努めてまいります。



2年前イベントin(イン)

質問 新たな分野での連携強化について 産業振興、観光分野での連携を強化。

市長 羽村市、羽村市商工会をはじめ、関連する20団体で組織する「羽村市地域産業振興懇談会」を設置し、市の重要な産業関連施策に対し、それぞれの専門的な立場からご意見をいただき、連携体制による産業振興に努めている。市の独自施策として、同懇談会のメンバーを核とした「産業支援ネットワーク」を構築し、企業ニーズに即した経営支援に力を注いでまいりました。市ではTAMA(たま)協会をはじめ、学術・文化・産業ネットワーク多摩、青梅線沿線地域産業クラスター協議会等と連携した事業を通して、連携の強化及び充実に努めている。

2. 公契約条例制定に向けた取り組みを

要旨 昨今、市と公契約の相手方となるものが、対等な立場と信頼関係を基に、締結する公契約を制度化する動きが近隣自治体にみられる。公共サービスの安全と質の確保、公正競争・公正労働の実現のため、適正な労働環境の確保、事業者の経営環境の維持改善、公共工事及び公共サービスの質の向上に資するとともに、地域経済の活性化と市民の福祉向上に寄与すると考える。既に制度化されている自治体を調査し取り組み要請。

質問 公契約制度の条例化は、安心安全なまちづくりに貢献すると考える。早期に検討委員会の立ち上げを含む、ガイドラインを設定し、条例制定に向けた第一歩を踏み出すべきであると考えます。

市長 この制度は、契約先に対し、請負業務に従事する労働者の賃金などの労働条件について、一定の基準を設け、その保障を求めるものであり、国において、その重要性を認識し、法令の整備などの必要な措置を講ずることが肝要である。違反している場合には罰則等の適用していくための事務執行体制の整備など課題がある。西多摩地域の各市町村では、契約担当部署からなる公契約条例検討部会を立ち上げ制度の研究を進めている。



多摩市公契約条例

1. 民間企業との包括連携協定について

要旨 市がコンビニエンスストア(以後コンビニと略す)などの民間企業と協定を締結することは、災害時や子育て施策でメリットがあり、検討すべきと考える。例として福生市で実施中の「地域活性化包括支援連携協定」はメリットが大きい。特にAEDのコンビニ設置を実現したことは大いに評価される。市でも、コンビニとの包括連携協定を締結すべきと考え、質問する。

質問 災害時には市からの要請により、食料品や飲料品、日用品が提供されるようにすることは市民の安全安心を確保する上で重要と考えるが、いかがか。

市長 災害に備えるために、食料や水について3日分の備蓄体制を整えています。また、市内の商店等と個別に協定を締結し、飲料水等についても、日野自動車株式会社羽村工場や株式会社伊藤園などの市内民間事業者と協定を締結するなど、各方面からの供給体制の充実に取り組んでいます。

質問 福生市では市内の商店170店で使える「ふっさ子育てまるとくカード」を発行している。羽村市でも導入を検討すべきと考えるが、いかがか。

市長 福生市の当該事業と同様の制度として、東京都が発行するパスポートを提示することで割引などのサービスが受けられる「子育て応援とうきょうパスポート事業」を平成28年10月から実施をしています。この制度を有効活用していくことが、利用者と事業者の双方にメリットが大きいものと捉えています。現在、市内の協賛店は少ない状況にありますが、今後、市内の協賛店の増加に向けて積極的に、市公式サイトや広報はむらにおいて、協賛店募集、アプリケーションの周知等のお知らせを行ってまいります。

質問 福生市で締結している、業界最大手のコンビニとの「地域活性化包括支援連携協定」は締約の範囲が著しく広い。市民生活に関すること全般が連携協定の対象となる。羽村市も締結すべきと考えるが、いかがか。福生市を訪問したところ、この連携協定は平成28年1月頃、コンビニの方から提案があって実現したとのことである。羽村市にも提案はなかったのかを問う。

市長 福生市が協定締結している株式会社セブンイレブン・ジャパンからは、羽村市に対しても平成27年12月に「包括的な連携・協定」についての申し入れがあり、市では、庁内各部署に情報を共有し、協定を締結していく方向で検討を進めています。市では、市と事業者の双方にとって意義のある協定となるよう、市の地域性や実態に沿った具体的な取組事項について協定に盛り込むことが可能であるか提案を行っているところであり、株式会社セブンイレブン・ジャパンにおいての実現性の確認を行っている段階で時間を要しており、協議を継続しているところです。

質問 コンビニへのAED設置は、平成27年の第3回定例会で、私などが一般質問している。市長の答弁は「有効であり、検討する」とのことであったが、検討した結果について問う。インターネットで調査すると、コンビニへのAED設置は多くの自治体で実現している。福生市でも業界最大手のコンビニの店舗17店のうち14店での協力が得られ、本年11月に設置したとのことである。羽村市でも努力をすれば、実現できると考えるが、いかがか。

市長 市では、現在、把握している限り、市内では、123施設に166台のAEDが設置されており、そのうち24時間利用可能なAEDは、市役所、交番、日野自動車正門守衛室など、10施設に1台ずつ設置されています。市としては、今後、24時間利用可能な場所へのAEDの設置促進を図っていく考えですので、現在の配置状況なども考慮しながら、株式会社セブンイレブン・ジャパンとの包括協定の進展に合わせて検討していきます。



2. 健康寿命延伸の取組みについて

要旨 健康寿命延伸は、市にとっても重要な施策と考える。杏林大学の協力で実施する体力測定について質問する。厚生委員会で視察した青森市でも、健康寿命延伸に取り組んでいるので質問する。最後に健康・体力づくり推進モデル町内会について問う。

質問 今年10月21日に杏林大学名誉学長の跡見裕先生の「羽村市民の健康寿命延伸を願って」というテーマで講演があった。健康寿命延伸は市にとっても大変重要な施策と考えるが、いかがか。

市長 羽村市文化祭で開催した跡見裕先生による文化講演は、人生100歳時代を送るメッセージとして、ユーモアあふれる中に、長きにわたって杏林大学医学部を牽引してこられた経験と知識が詰まった大変有意義な講演であり、参加された市民の皆様にも健康寿命を延伸していくための示唆に富んだ内容であったものと捉えています。今後も引き続き、市民の皆様の健康づくりを支援し、健康寿命の延伸へとつなげていく考えです。

体力測定項目（20歳～79歳）

質問 体力測定は杏林大学のご協力をいただき、スポーツ推進課、健康課、羽村市高齢者クラブ連合会の3団体が実施している。3団体の体力測定に参加して、それぞれの目的が異なるとはいえ、もう少し、連携を強化すべきと考えるが、いかがか。

20歳～64歳	65歳～79歳
握力	握力
上体起こし	上体起こし
長座体前屈	長座体前屈
反復横とび	開眼片足立ち
立ち幅とび	10m障害物歩行
20mシャトルラン・急歩	6分間歩行

教育長 スポーツ推進課では、スポーツ活動を実施している市民を中心に、日頃のスポーツ活動の成果を確認することを目的として、また健康課では、運動を始めたい方や運動をすることに不安がある方などを対象に、現状体力の確認や個々の状況に合わせた運動指導を目的として、体力測定を実施しています。そして、今年度は、スポーツ推進課で実施した体力測定の参加者を対象に、杏林大学の協力のもと健康課で個別相談会を開催するなど、連携強化を図っています。なお、羽村市高齢者クラブ連合会が実施している体力測定については、クラブが自主事業として実施しているもので、市では測定の補助を行うといった形で支援しており、今後もこうした支援を継続していきたいと考えています。

質問 市民から、スポーツ推進課で実施する年1回の体力測定の回数を増やすべきとの意見をいただいた。検討すべきと考えるが、いかがか。

教育長 今年度は、スポーツ推進課で実施している体力測定と、健康課で実施しているものを合わせると、合計で4回の体力測定を予定しており、次年度以降も同様に実施したいと考えています。

質問 青森市では「あおもり100日健康トライアル」と称して、ポイント制度を実施している。市民の健康へのインセンティブを高めるために、研究・検討をすべきと考えるが、いかがか。

市長 健康事業に関するポイント制度については、市民の皆様一人ひとりが、「自らの健康は自らがつくる」という意識を持ち、それぞれの年齢や健康状態等に応じて、具体的な行動としての一歩を踏み出していただくための、きっかけとして実施されているものと承知をしています。ポイント制度の運用は、さまざまな分野においての活用も考えられることから、それぞれのポイントを統合することも視野に入れ、総務省がマイナンバーカードを活用し、実証事業を行っている「自治体ポイント制度」などを参考に、研究に努めます。



質問 「羽村市健康・体力づくり推進モデル町内会の指定及び事業費補助金交付要綱」は、現在、活用されていないが、再開して、健康寿命延伸施策の推進を加速すべきと考えるが、いかがか。

教育長 市全体を対象として、はむら総合型スポーツクラブはむすぼ、スポーツ推進委員協議会等との連携により施策を展開していることから、現時点では、補助制度を再開する予定はありません。

本会議審議：〔12月4日～12月19日〕

区分	委員会	番号	案 件 名	採択・賛否等	
				新しい風	全体
市長提出議案	経済	69号	羽村市企業誘致促進に関する条例の一部を改正する条例	賛成	可決
		70号	羽村市生産緑地地区に定めることができる区域の規模に関する条例	賛成	可決
	補正 予算	71号 ～ 73号	平成30年度羽村市一般会計（第3号）、介護保険事業会計（第3号）、西口土地区画整理事業会計（第3号）	賛成	可決
		74号	福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業に関する業務委託（擁壁設置等）の変更契約について	賛成	可決
		75号	羽村市と青梅市との間におけるし尿処理に関する事務委託に関する規約について	賛成	可決
		76号	羽村市弓道場の指定管理者の指定について	賛成	可決
		77号	羽村市農産物直売所の指定管理者の指定について	賛成	可決
陳情	経済	10号	「議会による日立市の耐震対策制度の視察・調査のお願い」に関する陳情書	不採択	不採択
議員提出議案		6号	日米地位協定の見直しを求める意見書	賛成	可決
		7号	森林環境税の活用に関する意見書	賛成	可決

平成30年度 厚生委員会視察

高田和登

視 察 先：東京たま広域資源循環組合（2018.7.18）

視察目的：東京たまエコセメント化施設（ニツ塚処分場）及び谷戸沢処分場の現状について

視 察 先：比留間運送株式会社伊奈平工場及び入間工場（2018.7.18）

視察目的：一般廃棄物収集運搬、処分とリサイクルについて



東京たま広域資源循環組合



エコセメント化施設（ニツ塚処分場）



廃プラ圧縮梱包機

視 察 先：青森県六ヶ所村役場及びPRセンター（2018.10.16）

視察目的：原子力施設に対する安全対策について

視 察 先：青森県 青森市役所（2018.10.17）

視察目的：元気都市あおもり健康づくり推進計画について



六ヶ所村役場



PRセンター



青森市議会議場

特集1 ～地域防災力向上のための取り組み～

小宮國暉

10月14日（日）、東町地区6町内会による「災害に強い地域づくりのための訓練」が、本三公園広場にて開催された。この訓練は町内会会員だけでなく、東町の居住者を対象に広く参加を呼びかけ実施された。応急救護訓練では、家庭内で起こりうる身近な危険を取り上げ、消防署の隊員が対処法をレクチャー。炊き出し訓練では、「芋煮」と炊き出し窯による「ピザ作り」を実施。安心・安全なまちづくりとして、今後も同様な地域防災力向上の取り組みは市内全域に展開を促す。



皆様の声

要望事項が実現されました



BEFORE



AFTER

羽東1丁目19番付近：凹凸道路が修繕されました

TOPIX

○幼保無償化・財源問題決着 国1/2、都1/4、市1/4

2019年10月に始まる幼児教育・保育の無償化をめぐる協議が2018年12月10日に行われ、消費税アップ分を財源とし、国が費用の2分の1、都道府県、自治体がそれぞれ4分の1を負担することで決着。給食費・教材費・入園料は保護者負担となっている。細部については国・政府の具体的示達が今後になり羽村市の対応課題を含め、羽村市は2019年度予算は従前のままとし10月までに2019年度途中に補正措置を行う予定



- 昭島市：西多摩衛生組合への2016年加入要請を一方的に取り下げ通知。
- 西多摩衛生組合加盟構成4市町長（座長並木心市長）は昭島市長に対し加入を断る文書手渡し。決別宣言

昭島市は2016年可燃ごみ共同処理と4市町（羽村、青梅、福生・瑞穂）に西多摩衛生組合への加入を昭島市議会、行政当局一丸となって要請。

西多摩衛生組合は要請に応えるべく、2年半にわたり現在の焼却炉の性能、受入可燃ごみの量的検討審査資料や受入ルートを検討、近隣住民、組合議会への説明等、最大限の努力をしてきた。2018年10月に昭島市長は西多摩衛生組合構成市町へ事前に意見交換せず、一方的に撤回を通知、組合構成の会議



（11月20日）で加入を認めない方針を決定、昭島市長に対し加入を断る旨の文書を手渡した。

羽村市の損失（昭島市が加入した場合の羽村市経費負担減予定▲7,700万円 福祉費等充当可）

（中央アジア）キルギス共和国の柔道チーム一行・歓迎レセプション



友好親善ボランティア大使に**三田りょう氏**委嘱式

～ 新しい風 ～ 市民の皆様からの声をお待ちしております。

小宮國暉 事務所羽東1-2-9
電話・FAX：042-554-1555
携帯電話：070-5594-7198

高田和登 事務所小作台3-15-3
電話・FAX：042-555-4700
携帯電話：080-6860-1211